

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第6部門第2区分
 【発行日】平成20年4月24日(2008.4.24)

【公開番号】特開2006-258921(P2006-258921A)
 【公開日】平成18年9月28日(2006.9.28)
 【年通号数】公開・登録公報2006-038
 【出願番号】特願2005-73142(P2005-73142)
 【国際特許分類】

G 0 9 G 3/22 (2006.01)
 G 0 2 F 1/133 (2006.01)
 G 0 9 G 3/20 (2006.01)

【 F I 】

G 0 9 G 3/22 G
 G 0 2 F 1/133 5 5 0
 G 0 9 G 3/20 6 1 2 F
 G 0 9 G 3/20 6 2 1 A
 G 0 9 G 3/20 6 2 2 C
 G 0 9 G 3/20 6 4 1 P
 G 0 9 G 3/20 6 4 2 A

【手続補正書】

【提出日】平成20年3月11日(2008.3.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

複数の行配線と複数の列配線とそれらと接続した複数の電子放出素子を有する背面板と、アノード電圧が与えられる前面板とを有する表示パネルと、前記行配線の選択を行う走査回路と、前記列配線に変調電圧を与える変調回路とを備えた表示装置において、

前記走査回路は、

走査回路出力点と電源線間に設けられた非選択電圧をオンオフする非選択スイッチと、走査回路出力点と補正選択電圧発生回路出力配線間に設けられた補正選択電圧をオンオフする選択スイッチと、走査回路出力点と補正選択電圧発生回路入力配線間に設けられた選択行の出力電圧を検出する検出用スイッチとを各行毎に備え、

第1の入力を補正選択電圧発生回路入力配線と接続し、第2の入力を行選択電圧が印加される配線と接続し、出力を前記補正選択電圧発生回路出力配線と接続した差動増幅器を有する補正選択電圧発生回路を複数の行配線毎に備えることを特徴とする表示装置。

【請求項2】

前記補正選択電圧発生回路は、前記差動増幅器の入力と出力との間に帰還スイッチを備えることを特徴とする請求項1に記載の表示装置。

【請求項3】

前記帰還スイッチのオフ時刻を前記選択スイッチと前記検出用スイッチのオン時刻より遅らせたことを特徴とする請求項2に記載の表示装置。

【請求項4】

複数の行配線と複数の列配線とを有する表示パネルと、前記行配線の選択を行う走査回路と、前記列配線に変調電圧を与える変調回路とを備えた表示装置において、

前記走査回路は、

走査回路出力点と電源線間に設けられた非選択電圧をオンオフする非選択スイッチと、走査回路出力点と補正選択電圧発生回路出力配線間に設けられた補正選択電圧をオンオフする選択スイッチと、走査回路出力点と補正選択電圧発生回路入力配線間に設けられた選択行の出力電圧を検出する検出用スイッチを各行毎に備え、

第1の入力を補正選択電圧発生回路入力配線と接続し、第2の入力を行選択電圧が印加される配線と接続し、出力を前記補正選択電圧発生回路出力配線と接続した差動増幅器を有する補正選択電圧発生回路を複数の行配線毎に備えることを特徴とする表示装置。